

書名	勝手に「仏像」ランキング！			著者名	田中 ひろみ／著		
出版社	三笠書房	ISBN	978-4-8379-6946-4	本体価格	¥800	発売	2020/10/1
内容	日本全国の寺社を巡る人気イラストレーターが仏像の魅力をランキング形式で紹介！迫力部門、美人部門……今までなかった仏像ガイド！						

書名	日本仏教はじまりの寺 元興寺 一三〇〇年の歴史を語る			著者名	元興寺・元興寺文化財研究所／編		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-08388-1	本体価格	¥2,200	発売	2020/10/15
内容	蘇我馬子が創建した法興寺(飛鳥寺)が、平城遷都にともなって奈良に移転し、南都七大寺の一つに数えられる元興寺と称してから一三〇〇年。文献・考古・建築など、各分野の専門家たちが集い、古代の大寺から中世的都市寺院を経て今日にいたるその歴史と文化財をわかりやすく解説した講演を集成。元興寺研究の最前線へ誘うコラムも多数収録する。						

書名	図説 元興寺の歴史と文化財 一三〇〇年の法灯と信仰			著者名	元興寺・元興寺文化財研究所／編		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-08389-8	本体価格	¥2,600	発売	2020/10/15
内容	日本最初の本格的な寺院である法興寺(飛鳥寺)を前身として平城京に移建されて以来、一三〇〇年にわたり往時の面影と法灯を伝える元興寺。仏像、縁起絵巻や曼荼羅、古文書など、守り伝えられてきたゆかりの文化財を豊富なカラー図版で収録。古代の国家的大寺院から中世以来の都市寺院へと、「二つの顔」をもつ元興寺の歴史をビジュアルに紹介する。						

書名	検証 奈良の古代仏教遺跡 飛鳥・白鳳寺院の造営と氏族			著者名	小笠原好彦／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-08390-4	本体価格	¥2,200	発売	2020/10/15
内容	古代に都がおかれ、東アジア諸国の文化・情報を受容する拠点であった奈良。日本最古の寺院の飛鳥寺、百濟大寺と呼ばれた吉備(きび)池(いけ)廃(はい)寺(じ)、新羅の感(かん)恩(おん)寺(じ)を模した本(もと)薬(やく)師(し)寺(じ)…。飛鳥・白鳳時代の二五寺院などを、発掘成果と『日本書紀』などを検証し、平易に紹介。古代の有力氏族が建立した寺院跡の所在地と瓦類から有力氏族相互の政治・経済関係に言及する。						

書名	光明皇后御傳 改訂増補版		著者名	宗教法人光明宗 法華寺／編			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-01584-4	本体価格	¥6,000	発売	2020/10/15
内容	1953年に刊行された本の改訂増補版						

書名	興福寺の365日		著者名	著者／辻明俊 映像制作／保山 耕一			
出版社	西日本出版社	ISBN	978-4-908443-53-4	本体価格	¥1,700	発売	2020/10/19
内容	興福寺に千年以上伝わる僧侶の口述試験「堅義(りゅうぎ)」。法相宗の僧が一生に一度だけ受験を許され、失敗すれば寺を去る覚悟で挑む。そんな難関を乗り越えた辻明俊の話は、軽やかで楽しい。日々の修行、門前町とのお付き合い、僧侶になったわけ、お寺で起こる不思議な現象、自慢のかす汁の話、お寺の長い歴史の話、そして奈良のこと……。興福寺の日常を、若き僧侶・辻明俊が写真とともに縦横無尽に紡いでいきます。						

書名	恋せよ万葉集 ことのは！		著者名	青沼裕貴／著			
出版社	ぱる出版	ISBN	978-4-8272-1242-6	本体価格	¥1,400	発売	2020/10/22
内容	『万葉集』の歌い手たちも、今を生きる私たちと同じように笑い、泣き、恋をした——元号「令和」の出典ともなった『万葉集』。本書では、そのなかの「恋歌」5編を漫画で紹介。基礎知識も専門家が丁寧に解説。当時の皇子・皇女たちの愛おしいまでの恋心が伝わってくる珠玉の一冊。						

書名	仏像破壊の日本史(仮)		著者名	古川 順弘／著			
出版社	宝島社	ISBN	978-4-299-01012-4	本体価格	¥1,100	発売	2020/10/23
内容	1867(慶応3)年、明治天皇の「王政復古の号令」にともない新政府が行った神仏分離によって巻き起こった廃仏毀釈から150年。神社と寺院を分離する政策が、なぜ僧侶自らが率先して神職への転職を申し出て、本尊を斧で叩き割ったとされる史上稀な宗教攻撃、文化財破壊にエスカレートしたのか？ 日本の寺院、国宝が半減したといわれる明治維新の黒歴史。そのとき神社仏閣では何が起こったのか。日吉大社、石清水八幡宮、興福寺、大神神社、金峯山寺、日光東照宮……。衝撃的なビジュアル資料とともに、数々の具体的事例で日本宗教史における						